



にしむら なほ
西村 成穂

鳥取市立美保小学校 教諭

地域学部卒業

鳥取県立鳥取西高等学校卒業

教員を目指したきっかけ：

小学校、中学校、高校の時に会った先生方との出会いが大きかった。自分に成長するきっかけを与えてくれた先生や、大好きだった先生との出会いが教師への憧れにつながった。また、大学生の時に子どもと関わるアルバイトや教育実習を経験することで、子どもに携わる仕事がしたいという思いが強くなった。それらの経験を経て、自分と同じように、先生と出会えて良かったと思ってもらえる教師になりたいと思うようになっていった。

教員になって良かったこと：

毎日のようにいろいろなことが起こって、大変なことがたくさんあるが、それ以上に、喜びや楽しさを感じることもたくさんある。

例えば、

①1年目の時→トラブルなどが多く、一年間関わり方を悩んでいた子が、修了式の日の帰りに「先生、ありがとう」と言ってくれた。

その一言がすごく嬉しくて、一年間頑張った良かったと思えた。

②2年目の時→「このクラスで良かった。」「先生が担任の先生で良かった。」と言ってくれた子どもたちがいたこと。

自分が一生懸命関わってきた時間以上に、子どもたちからもらったものは多かった。子どもたちの成長に関わり、その過程をそばで見守ることができ、これは、教師ならではの魅力だと思う。

鳥取大学で教職を学んでよかったこと：

免許が複数取れたこと。高校生の頃は、教師になりたいという思いはあったが、学校種までは決めていなかった。様々な校種の免許が取れたところがよかった。自分は、小学校と特別支援学校の2つのことについて学んだり、実習を経験したりすることができ、幅広く学ぶことができた。また、教員養成センターでは、教員採用試験に向けての対策をはじめ、相談等にも関わってもらえることができ、とてもありがたかった。

教員を志望する後輩たちに伝えたいこと：

子どもたちとの生活は、ときどきおもしろく、たくさんの発見があり、毎日楽しいです。そして、様々な子がいて、たくさんの子供たちとの出会いの連続です。子どもたちと一緒に自分も成長することのできるとてもやりがいのある仕事だと思います。この仕事に興味をもち、なりたいと思う人が増えてくれると嬉しいです。



なか ちえみ
中 知恵美

鳥取市立美保小学校 教諭

地域学部卒業

鳥取県立鳥取東高等学校卒業

教員を目指したきっかけ：

サークル活動やアルバイトで子どもと接する中で、子どもと関わる楽しさを感じ、将来子どもと関わる仕事がしたいと思うようになった。弟の授業参観をした際に、小学校の先生が楽しそうに授業をする様子や、目を輝かせて授業を受ける子どもたちの姿を見て、小学校の教員に憧れを抱いた。小学校の教育実習で授業をした際に、教材研究の奥深さを感じるとともに、自分が考えた授業で子どもたちが興味をもってくれた時にやりがいを感じ、教員を目指すようになった。

教員になってよかったこと：

子どもの成長する姿を見る度に心が動かされ、やりがいを感じる。自分の関わり次第で、子どもの受け取り方やその後の行動も変わってくるため、うまくいかず悩むこともたくさんあるが、それでも、子どもの頑張ろうとする姿や成長した姿を1回でも見られた時は、それまでの辛さが吹き飛ばすほど嬉しい。

問題行動を起こすことのある子どもの担任になった時、周りの先生方や保護者の方にも支えられ、自分なりにいろいろ考えながら接していく中で、子どもがこれまで苦手だったことに挑戦しようとする姿や、友達を思いやる姿が増えていった。その子どもから学期末にもらった手紙に、「担任が中先生でよかった。」「先生のことが大好きです。」と書かれていた時は、涙が出るほど嬉しかった。

鳥取大学で教職を学んでよかったこと：

鳥取大学で教職を学ぶにあたり、学校にとって地域は欠かせないものであるということ、地域づくりにとって重要な役割を担うのが学校であるという視点をもちことができ、自分の中で見方・考え方が広がった。

教員採用試験を受けるにあたり、不安なことがたくさんあったが、教員養成センターの先生方が親身に相談にのってくれたことで、安心して教員採用試験に向かうことができた。また、卒業して教員になってからも気にかけてくださり、改めて鳥取大学で教職を学んでよかったと思った。

教員を志望する後輩たちに伝えたいこと：

教員になる前、教員は大変というイメージが強く、正直なところ、憧れはあるけれど本当に自分で務まるのか不安でした。実際に教員として働き始め、悩むこともありました。しかし、子どもが成長していく姿を間近で見たり、「先生が担任でよかった」と言われたりすると、本当にやりがいのある仕事だと感じます。周りの先生方、子どもたち、保護者の方々に支えられながら自分自身も成長することができること、毎日様々な場面で心を動かされることも教員の魅力の一つだと思います。



ふくた なおき
福田 直生

鳥取市立醇風小学校 教諭

地域学部卒業

鳥取県立鳥取東高等学校卒業

教員を目指したきっかけ：

教員という仕事を本格的に志したのは、みなさんと同じ高校生の時でした。僕はずっと読書が好きでしたが、国語(現代文や古典・漢文)という教科そのものが好き、面白いと感じたのが高校で出会った国語の先生の授業です。それから僕も同じように、子どもたちに学ぶことの楽しさを知ってほしいと思い、教員を目指し始めました。

教員になってよかったこと：

- ①1日として同じ日はなく、日々の授業や子どもたちとの関りで充実している。
- ②1~6年という幅広い学年を見るので、成長をより実感できる。さらに担任として学級の子どもたちを1年間、一番身近でその成長を実感しながらその手助けができる。(特に小学校)

鳥取大学で教職を学んでよかったこと：

- ・「教員になりたい」という志をもった人に多く出会える。教育実習や試験前などは互いにアドバイスしたり、励まし合ったりしながら、取り組める。
- ・教員養成のための場があり、現職の先輩から実際に話を聞ける機会があったり、過去問や面接練習も教採前から取り組めるので集中して準備ができる。
- ・近隣に学校や児童クラブがたくさんあり、大学外でも教員になるうえで大切な経験を積むことができる。

教員を志望する後輩たちに伝えたいこと：

高校生のみなさん、勉強は順調でしょうか。進みたい進路に向けて努力を続けて下さい。そうすれば楽しい未来が待っています。大学では、部活やサークル、アルバイト、講義など様々な経験をする事ができます。もしも皆さんが大学生として過ごした後、「学校の先生になりたい」という気持ちが変わらなかつたら、ぜひ教員を志してください。子どもたちの成長を一番身近で実感でき、子どもたちと共に成長し続けることができるこの魅力ある場所で、共に働ける日を楽しみにしています。